

「日本復帰記念の日」を間近に控えて

校長 山田 吉夫

先日、第2土曜日の3校時に、日本復帰記念講話として、本校の田中教頭が全校児童を対象に話をしました。奄美市から関連する写真資料の提供受け、教頭自らプレゼンテーションを作成しました。多くの写真資料から、当時の人々の日本復帰を願う気持ちと悲願を達成したときの喜びの熱量がよく伝わってくる講話となりました。熱心に話を聞く子供たちの様子を見ると、もっともっと奄美の歴史を知る機会を増やさなくてはならないと改めて感じました。

さて、12月25日は、その「日本復帰記念の日」になっています。もともとは、泉芳朗先生を偲ぶ会が中心となって集会を開催していた日だったそうですが、日本復帰40周年（1993年）に金久中学校の演劇「潮鳴よ同胞の胸に響け」の公演を機会に、名瀬市街地の小・中学校が参加するようになったそうです。その後、名瀬市市政50周年を迎えた1996年に「日本復帰記念の日」が制定されたそうです。

それ以降も毎年12月25日に盛大に行われていた「日本復帰記念の日のつどい」ですが、コロナ禍になった令和2年度から、規模を縮小して行われております。もともと6年生全員が参加していた会ですが、現在は代表者数名だけが参加しています。そのような状況の中、これまで以上に学校においては、奄美の歴史を支えた人々の思いや願いを全ての子供たちが引き継いでいかなければならないと感じます。来年は、日本復帰70周年を迎える年になります。より一層、意識を高くもって取り組んでいきたいと思っております。

まもなく令和5年（2023年）がスタートします。来年はどんな一年を予想されているでしょうか。十干十二支（じっかんじゅうにし）では、癸卯（みづのと・う）の年になります。「春が訪れ、花が開き実り始める」という意味もあるようです。コロナ禍が始まって3年になりますが、少しずつ元の生活を取り戻しつつあるように感じます。来年は、今よりもっと活気のある1年になり、子供たちの努力がより一層花開くのではないかと、期待に胸を膨らませているところです。どうぞ、よいお年をお迎えください。



大活躍!さざ波バンド

昨年度と比較して、今年度は活発に活動が行えているさざ波バンド。11月は商店街祭り・土木フェスタ・伊津部音楽祭と引っ張りだこです。



児童集会(図書放送・給食・保健)

児童集会が充実しています。11月は図書放送委員会と給食委員会、12月には保健委員会が発表しました。それぞれの委員会は、委員会の特色を生かした内容で、集会を有意義な時間にしてれています。これからも児童会から学校を盛り上げて欲しいです。





持久走大会

今年も全力で駆ける姿が輝いていました。昨年度、距離の改訂を行いました。新記録も複数出ました。出場した選手の皆さんに心から拍手を贈りたいです。



租税教室

7月に予定していた6年生の租税教室ですが、今月ようやく実施できました。

今年度も本校の学校評議員であり、税理士の岡村誠先生にご来校いただき、授業を行っていただきました。6年生は税について、おもしろおかしく学ぶことができましたようです。



人権集会

12月は人権月間として、伊津部小学校でも様々な取組を行いました。12月6日には児童会活動として、人権集会をリモートで行いました。

各学級で数人のグループをつくり、友達のいいところを紙に書いて回す活動をしました。自分のいいところがたくさん書いてある紙を見た子供たちは、素敵で、ちょっと照れくさい表情を浮かべていました。

現在、その紙は音楽室横の壁に貼ってあります。

人権月間をとおして、自分のよさ、友達のよさを大いに考えるきっかけになったと思います。



新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金・支援金の案内について(厚生労働省)

令和5年3月末までの間で、子供の世話を保護者として行うことが必要となったことにより、仕事ができなくなっている子育て世代への支援として、有給を取得させた事業主や契約した仕事ができなくなった個人で仕事をする保護者へ助成金や支援金を贈る制度があります。詳しくは、厚生労働省のHPで御確認ください。

